

外国書講読 (英) ワークシート (7)

1. トロイゼン碑文の個別的な記載部分がヘロドトスの記述と一致していることがどのような嫌疑を招くのか。
2. たとえトロイゼン碑文の個別的な記載部分がぶざまに変則であるとしても、トロイゼン碑文が本物だという根拠として利用する場合、何が根拠となるのか。
3. 碑文に使用されている語法がアイスキュロスの語法に類似している場合、どのような提案がされるのか。
4. 「アテナイの女支配者」という添え名はこれまで何の真正について疑問を掻き立ててきたのか。
5. 4 の理由はルウィスによると何であるのか。
6. アテナ・ポリアスという名前の起源はどこか。
7. ルウィスによれば何が 4 世紀の偽造犯の想像力を超えているのか。
8. アマンドリーはゼウスのどのような添え名に疑問を抱いているのか。
9. アテナ・ニケは 5 世紀にその存在を証明されているがニケ単独はどうか。
10. ジェームソンとルウィスは何の反復使用に慰めを見出しているのか。
11. 偽造犯が「パンクラテス (全能)」というゼウスの添え名をアイスキュロスから引き出したと提案しているのは誰か。
12. トロイゼン碑文の作者はどうすることに自制心を示しているのか。
13. 著者は神々の名前が現在行っている検証に使用するにはどうだと言っているのか。
14. ギリシア語文献で艦船搭乗班という意味の taxis (複数形 taxeis) という言葉はこの碑文以外にどこで用いられているのか。
15. ヘロドトスやテオポンポスが使用しているが、碑文がその使用を避けている動詞は何か。
16. 15 の理由は何か。
17. トロイゼン碑文に使用されている Akropolis という言葉はいつ頃まで使用されていなかったのか。
18. 偽造犯は何に 5 世紀の色合いを与えるのに優れた技術を持っていたのか。
19. 碑文に見られる母音連続 (hiatus) を避けようとする傾向は誰の傾向なのか。
20. 母音連続によって母音は 350 語で何回衝突しているのか。
21. テミストクレス法令を 346 年の少し前にアテナイの民会で読み上げたのは誰か。
22. 4 世紀初めのリュシアスとかイソクラテスとかにテミストクレス法令は知られていたのか。
23. トロイゼン碑文がオリジナルのコピーだという説によればアルテミシオンの海戦はどのように解釈されているのか。

24. 単なる行政上の決議を恒久的な記録として碑文にして設置する習慣はあったのか。
25. テミストクレス法令が 5 世紀を通して保存されたとするならどのような文書に保存されたのか。
26. アテナイに法律文を含む公文書館があったことは何から確実とされるのか。
27. 4 世紀になるとペルシア戦争期の無数の文書が保管されていると申し立てられたが、それらの真正性が誰によって否定されたのか。
28. ペルシア王との条約（カリアスの平和）の真正性が否定された根拠は何か。
29. プラタイアでの誓いやペルシア王との条約、マラトンの戦いについての記事の真正性を批判する『フィリッピカ（フィリッポス王の歴史）』25 巻は 348-7 年の出来事を含んでいるが、その頃に何が起きているのか。
30. テミストクレス法令を真正とみなす研究者はもしアイスキネスが偽造犯だとしても、誰がアイスキネスを偽造犯だと言っているとして議論しているのか。
31. 歴史家のエフォロスがプラタイアでの誓いなどの文書を発見したという主張もあるが、この主張を否定する事実は何か。
32. 一般にギリシアの歴史家は文書をどうするのか。
33. 叙事詩の影響を受けるギリシアの歴史叙述の不幸な結果とは何か。
34. 長文の愛国的な詩を引用するという習慣はいつ頃増えたのか。
35. 著者は誰がテミストクレス法令の偽造者と見ているのか。
36. 35 の人物は評議会の何の役を務めていたのか。
37. 35 の人物はその役職を通じて何に慣れていたのか。
38. 35 の人物は 4 世紀と 5 世紀の何の違いに鋭敏であったのか。
39. 357 年の海軍の財務並びに行政の制度を徹底的に見直す以前に三段櫂船長は何をすることが出来たのか。
40. 著者によると懐疑論の問題点は何か。
41. テミストクレス法令は誰の『法令集』に収録されたのか。
42. プルタークもアリストイデスも何を信じていなかったのか。
43. テミストクレス法令が『法令集』に収録されているとしても、単一の法令として収録されていたのだろうか。
44. トロイゼン碑文は 4 世紀に存在していると言及されているテキストの何なのか。
45. スパルタ王が疎開の時間を稼ぐためにテルモピュライに赴いたというのは著者に言わせるとどうなのか。